

再春ボランティア新聞

No. 7 2020年8月発行

新型コロナウイルス感染拡大の影響で当院も2月下旬から全病棟面会禁止となり、それに伴い、ボランティアさんの受け入れも中止となりました。しかし、6月に入り、面会制限が一部解除となったため、一日の受け入れ人数を制限し、検温やマスク着用の徹底など感染防止対策を充分に行った上で、縫製ボランティアさんの受け入れを再開しました。ボランティアさんからは「ずっと待っていました」「縫製が必要な衣類が溜まっていなかったか心配していたので、再開できて嬉しいです」などと心温まるお言葉をたくさん頂きました。前開きやミトンの作製、ボタン付けなどをお願いし、素敵な仕上がりとなりました。利用者さんと職員一同、感謝の気持ちでいっぱいです。今回は縫製ボランティアさんの活動の様子や出来上がりの写真などを掲載させていただきます。いつも本当にありがとうございます。

つくし病棟や南病棟で例年行われていた行事は、当面の間中止となり、ボランティアの皆様と一緒に活動できる機会が減ってしまうことをとても残念に思います。新型コロナウイルスの流行が一日でも早く終息し、以前のようにボランティアの皆様と楽しく活動ができるようになる日を心待ちにしております。

縫製作業の様子

ミトンを作って頂きました♪



とても素敵な仕上がりで利用者さんも
嬉しそうにされていました♪

令和2年6月～7月

* ボランティア集計 *

個人ボランティア	活動内容	つくし病棟	南病棟	延べ人数
	縫製	18	0	18

ボランティア控え室前の装飾



季節に合わせて変えてくださっています♪